

国立山口徳地青少年自然の家 教育事業
徳地アドベンチャー教育研修会Ⅱ



「笑顔あふれるクラスづくりのために！」

平成27年8月12日(水) ~ 8月13日(木)

【ねらい】 「体験をととして集団の成長を実感する」「自らが体験したことをもとに徳地アドベンチャープログラム(以下、TAP)を理解する」「参加者同士の学びあいをととしてやる気になる」

【講師】 中原誠輔氏(周南市立鹿野小学校校長) 前原賢治氏(長門市立浅田小学校教頭) 牛島昌哉氏(宗像市立日の里東小学校教頭) 田岡正春氏(北広島町立大朝中学校)

【参加者】 男性14名 女性7名

【プログラムの内容】 8月12日(水)

10:00 開講式
10:30 セッション1 学びの環境づくり
13:00 セッション2
18:30 セッション3

8月13日(木)

9:00 セッション4
13:00 セッション5 実践紹介
15:00 閉講式

セッション1 学びの環境づくり



初めはジャンケンやみんなて手をつなぐ活動でウォーミングアップ。



笑顔がいいね!



お互いに声を出し合って課題をクリアー。

セッション4 ふりかえり



クイックチェック!



「どんな声が聞こえた?」
「何が起こった?」

セッション5 実践紹介



田岡正春氏



牛島昌哉氏

セッション2, 3 ローエレメントに挑戦



少し困難な課題に挑戦!



難関にチャレンジ!



夜のメインの課題解決は2グループともに「サイクルタイム」という活動。意見を出し合い作戦を立て、グループの新記録に挑む。



前原賢治氏



中原誠輔氏

実践紹介の中で、参加者に好評だった参加者の希望者によるファシリで、参加者同士がアイスブレイクに挑戦した。

【参加者の声】

- TAPの活動もよかったが、ファシリテーターの声かけや役割についても学べたことがよかった。
- 実践事例の具体を多く学ぶことができ、今後の実践のヒントにしていきたい。
- 実践紹介の中で思いがけずファシリテーターを体験できたことがとてもよかった。

【成果】

- TAPの考え方を学校現場の中で指導に取り入れている4名の個性あふれる講師による実践紹介は、参加者のアンケートからも好評だった。実践紹介の中で、全参加者が小グループに分かれ、TAPの実践者からその場でグループのメンバー同士が触れ合う活動を体験し、2日間一緒に活動してきたメンバーを相手にファシリテートするミニ実習が参加者の「やる気」を引きだすきっかけとなった。

【課題】

- 4名の講師を招聘したことは多様な実践を参加者が知ることができよかった反面、実践紹介の内容について重複しないように事前に調整することができなかった。

【今後の展望】

- 実践紹介は今回初めての試みであった。多くの参加者が教員のため、学校での実践紹介は好評であった。新たな実践者を招聘して次年度も継続して実施したい。